

業務名 (業務コード)		搭載便割当情報訂正呼出し (FLF)										条件	コード	入力条件/形式				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2											
1		入力共通項目		an	398		M											
2		処理種別	SS B	an	1		M										処理種別を入力 C: 変更の場合 X: 取消しの場合 F: 強制取消しの場合 M: 貨物識別の変更登録の場合	
3		割当て (変更後) 便名 1	WF L	an	6		C										(1) 便割当て (変更後) 便名の便名部を入力 (2) 航空会社コード+フライト・ナンバーを入力 (3) フライト・ナンバーについては、3桁又は4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。 (4) 処理種別が「C」(変更)の場合は、必須入力 (5) 処理種別が「X」(取消し)、「F」(強制取消し)または「M」(貨物識別の変更登録)の場合は、入力不可	
4		割当て (変更後) 便名 2	WF 2	an	5		C										(1) 便割当て (変更後) 便名の日付部を入力 (2) 処理種別が「C」(変更)の場合は、必須入力 (3) 処理種別が「X」(取消し)、「F」(強制取消し)または「M」(貨物識別の変更登録)の場合は、入力不可 (4) 以下の形式で入力 DDMMM	
5		割当て使用取卸地	WU U	an	3		C										IATA空港コード 及び IATA都市コード	(1) 割当て (変更後) 便名の取卸地を入力 (2) 処理種別が「C」(変更)の場合は、必須入力 (3) 処理種別が「X」(取消し)、「F」(強制取消し)または「M」(貨物識別の変更登録)の場合は、入力不可
6		取消し (変更前) 便名 1	CF L	an	6		M										(1) 取消し (変更前) 便名の便名部を入力 (2) 航空会社コード+フライト・ナンバーを入力 (3) フライト・ナンバーについては、3桁又は4桁の入力が可能。4桁目については、英・数記号が可、それ以外は数字とする。 (4) 処理種別が「X」(取消し)または「F」(強制取消し)の場合は、取消し用の便名を必須入力 (5) 処理種別が「C」(変更)の場合は、変更前の便名を必須入力 (6) 処理種別が「M」(貨物識別の変更登録)の場合は、貨物の割り当てられている便名を必須入力	
7		取消し (変更前) 便名 2	CF 2	an	5		M										(1) 取消し (変更前) 便名の日付部を入力 (2) 処理種別が「X」(取消し)または「F」(強制取消し)の場合は、取消し用の便名を必須入力 (3) 処理種別が「C」(変更)の場合は、変更前の便名を必須入力 (4) 処理種別が「M」(貨物識別の変更登録)の場合は、貨物の割り当てられている便名を必須入力 (5) 以下の形式で入力 DDMMM	
8		取消し使用取卸地	CF U	an	3		M										IATA空港コード 及び IATA都市コード	(1) 取消し (変更前) 便名の取卸地を入力 (2) 取消し (変更前) 便名が入力された場合は、必須入力
9	20	処理識別	SH B	an	1		C										スペース: AWB U: ULD X: 処理対象外	
10	*	AWB番号	AW B	an	20		C										(1) AWB単位で呼び出す場合に入力 (2) 処理識別が「U」の場合は、14桁以内のULD番号であること	